

国へ大幅増員など求め 板橋区議会・町田市議会が意見書を可決

町田市議会で全会一致で可決した 国に対する意見書（全文）

大幅増員と夜勤改善で、安全・安心の医療・介護を求める意見書

長寿世界一を誇る日本の医療は、長年にわたる社会保障費抑制政策のもとでも、医師、看護師などの懸命な努力で支えられてきた。

しかし、医療現場は、長時間・過密労働に加え、医療技術の進歩や医療安全への期待の高まりなどで、看護職員などの労働環境は厳しさを増し、離職者も多く、深刻な人手不足になっている。医療現場の実態はかつてなく過酷になっており、全国各地で医師や看護師の不足が深刻化している。

看護師など夜勤交代制労働者の労働条件を抜本的に改善し人手を大幅に増やして、安全・安心の医療・介護を実現することが急務となっている。

医療・社会保障予算を先進国並みに増やし、国民が安心して暮らしている制度の拡充が求められている。

以上の趣旨から、町田市議会は、国に対し、看護師等の大幅増員を実現し、安全でゆきとどいた医療・看護・介護の拡充を図ることを求めるものである。

- 1、ILO看護職員条約に基づき、看護師など夜勤交代制労働者の労働時間を1日8時間、週32時間以内、勤務間隔を12時間以上とすること。
- 2、医療、社会保障予算を先進国(OECD)並みに増やし、医師・看護師・介護職員等を大幅に増やすこと。
- 3、国民(患者・利用者)の負担を減らし、安全・安心の医療・介護を実現すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

板橋区議会で看護師の大幅増員を求める意見書

東京民医労健文支部、日大教職組医学部支部、都庁職病院支部豊島病院分会、同養育院支部の四労働組で共同して取り組んだ、板橋区議会への請願は6月27日の第2回定例会本会議にて全会一致で採択され、同日、区議会は看護師の大

幅増員等を求める意見書を可決しました。国に対する意見書の文中には看護現場の改善や看護師の負担軽減が盛り込まれました。



この間すすめてきた、医師・看護師・介護職員等の大幅増員・夜勤改善を求める自治体議会への請願行動の中、六月の定例会において、二つの自治体で、請願が採択され、意見書が提出されました。

多摩市議会は継続審査に 市内医療機関の実態調査へ

厚生荘病院労組、桜ヶ丘労組が連名で請願を提出した多摩市議会では、6月30日の本会議で、健康福祉常任委員会での継続審査が議決されました。委員会は、市議会の休会中に、市内医療機関の視察や労働組合などへのヒアリングなど、労働実態の調査を行う方向。9月以降での採択が期待されます。

町田市議会では社会保障 推進協議会(社保協)で 力をあわせて

町田市では飛鳥病院労組、町田市市民病院労組が中心となって地域の社会保障推進協議会(町田社保協)のみなさんと力をあわせて市議会へ請願を提出。6月29日の第3回定例会本会議において全会一致で請願が採択され、ILO看護条約に示された勤務間隔12時間や週労働32時間なども含め、国会請願と同じ3項目にわたる国に対する意見書を可決・提出しました。